みんぱくリポジトリ
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnolo

# 国立民族学博物館研究報告 vol.1-4; 表紙,目次ほか



| メタデータ | 言語: Japanese<br>出版者:<br>公開日: 2010-02-16<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者:<br>メールアドレス:<br>所属: |
|---|---|
| URL | http://hdl.handle.net/10502/00009267 |

1976·12 1巻4号

# 国立民族学博物館研究報告

●

論文

ノーンパーマンの灌漑体系——ラーンナータイ稲作農村の民族誌的研究(1)——田邊繁治
アイヌのキテ（回転式離頭銛）の諸系列——形態分類と編年——大塚和義

●

資料・研究ノート

ヤオ族の姓と命名法——竹村卓二
東北地方タケカゴ細工の基調——日本列島におけるカゴ細工の諸系列(1)——中村俊亀智
ウロス——トバ・バタック族の布について——吉田集而

●

国立民族学博物館における研究のあり方について——梅棹忠夫

禁転出

国立民族学博物館
大阪府 吹田市 千里 万国博記念公園 〒565 TEL 06-877-5341

# 国立民族学博物館研究報告

1巻4号　　1976年12月

## 目　次

**論　文**

ノーンパーマンの灌漑体系
——ラーンナータイ稲作農村の民族誌的研究 (1)——……田邊繁治……671

アイヌのキテ（回転式離頭銛）の諸系列
——形態分類と編年——……大塚和義……778

**資料・研究ノート**

ヤオ族の姓と命名法……竹村卓二……823

東北地方タケカゴ細工の基調
——日本列島におけるカゴ細工の諸系列 (1)——……中村俊亀智……847

ウロス
——トバ・バタック族の布について——……吉田集而……868

**調査研究活動報告**

ヨーロッパ諸国の博物館視察 (3)……大給近達……884

サン・ルイ断章
——在外研究活動の記録——……端信行……887

**彙　報**……893

国立民族学博物館における研究のあり方について……梅棹忠夫……896

国立民族学博物館研究報告1巻総目次……939

国立民族学博物館研究報告寄稿要項……941

国立民族学博物館研究報告執筆要領……942

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

**Vol. 1 No. 4** **December 1976**

TANABE, Shigeharu — The Irrigation System in *Nɔ̄ng Pāman*, a *Lānnāthai* Village in Northern Thailand ····· 671

OHTSUKA, Kazuyoshi — The *kite*, Toggle-headed Harpoons of the Ainu: Typology and Chronology ····· 778

TAKEMURA, Takuji — The Yao Clan Names and Name-giving Systems ····· 823

NAKAMURA, Takao — Basket-working in Japan (1): Tōhoku Area ····· 847

YOSHIDA, Shuji — *Ulos*: Traditional Weavings of the Toba-Batak ····· 868

OGYU, Chikasato — Visiting European Museums (3) ····· 884

HATA, Nobuyuki — Research Trips to Saint-Louis, Sénégal ····· 887

UMESAO, Tadao — For the Promotion of Research Activities in our Museum ····· 896

## 彙　報 (昭和51年7月～昭和51年9月)

### 評議員の再任

昭和51年9月15日付けで下記評議員が再任された。

石井　良助　専修大学教授（法学部）
市古　貞次　国文学研究資料館長
今西　錦司　京都大学名誉教授
江上　波夫　上智大学教授（文学部）
大藤　時彦　成城大学名誉教授
岡　　正雄　和洋女子大学教授（文家政学部）
釜洞醇太郎　大阪大学名誉教授
茅　　誠司　日本学術振興会会長
窪　　徳忠　立教大学教授（文学部）
桑原　武夫　京都大学名誉教授
斎藤　　正　東京国立博物館長
鈴木　　尚　成城大学教授（経済学部）
古野　清人　駒沢大学教授（文学部）
松本　信廣　慶応義塾大学名誉教授
山本　達郎　国際基督教大学教授（教養学部）

### 運営協議員の再任

昭和51年9月15日付けで下記運営協議員が再任された。

石川　榮吉　東京都立大学教授（人文学部）
伊藤　清司　慶応義塾大学教授（文学部）
岩田　慶治　東京工業大学教授（工学部）
大島　襄二　関西学院大学教授（文学部）
甲田　和衛　大阪大学教授（人間科学部）
白鳥　芳郎　上智大学教授（文学部）
富川　盛道　東京外国語大学教授（アジア・アフリカ言語文化研究所）
中根　千枝　東京大学教授（東洋文化研究所）
藤岡　喜愛　愛媛大学教授（教養部）
吉田　禎吾　東京大学教授（教養学部）
伊藤　幹治　国立民族学博物館教授
大給　近達　国立民族学博物館教授
佐々木高明　国立民族学博物館教授
祖父江孝男　国立民族学博物館教授
和田　祐一　国立民族学博物館教授

### 客員研究部門担当教官

昭和51年9月1日付けで客員研究部門担当教官が下記のとおり発令された。

第1研究部
講師　高取　正男（京都女子大学文学部）
講師　栗田　靖之（大阪女子大学学芸学部）

### 合同研究会

昭和51年

7月13日　「ノーンパーマンにおける稲作技術体系――山間盆地ラーンナータイ農村調査報告――」　田邊　繁治

「北部タイ山地種族の移住の態様――ヤオ族の事例を中心にして――」　竹村　卓二

7月15日　"Classification of Mon-Khmer Languages and Prehistory in Southeast Asia."　Gérard Diffloth

### 共同研究活動

昭和51年度における共同研究班の研究課題および班員は，下記のとおりである。（五十音順，＊は共同研究員として委嘱した館外研究者）

「日本民族学史の研究――(1)渋澤敬三――」
代表者――祖父江孝男
班　員――石森　秀三　伊藤　幹治
梅棹　忠夫　杉本　尚次
須藤　健一　松原　正毅
*米山　俊直

「うつわ（器）の用具論的研究」
代表者――中村俊亀智
班　員――大塚　和義　*車　政弘
*後藤　勇雄　杉村　棟
*松本　敏子　*山本　忠尚

*芳井　敬郎

「北・中央アジア民族誌の基本文献についての基礎調査」

代表者―― 大塚　和義

班　員――*小川　真子　加藤　九祚
君島　久子　*黒田信一郎
*佐口　透　*佐々木利和
中村俊亀智　*原山　煌
山田　信夫

「黒アフリカにおける物質文化の比較研究」

代表者―― 和田　正平

班　員――*阿部　年晴　石毛　直道
*上田　将　江口　一久
*川田　順造　*田中　二郎
長島　信弘　中村俊亀智
端　信行　福井　勝義
藤井　知昭　*森　淳

「西アジアにおける文化変容――民族と音楽――」

代表者―― 藤井　知昭

班　員―― 櫻井　哲男　杉村　棟
*鈴木　道子　*高橋　昭弘
松原　正毅　*馬淵卯三郎
*山口　修

「東南アジアにおける慣習法の研究」

代表者―― 石井　米雄

班　員――*池端　雪浦　*石沢　良昭
*梶原　景昭　*北原　淳
関本　照夫　田邊　繁治
*友杉　孝　松澤　員子

「ラテン・アメリカの文化変容」

代表者―― 大給　近達

班　員――*石井　章　*大貫　良夫
黒田　悦子　*小谷　凱宣
*佐藤　信行　*友枝　啓泰
藤井　龍彦　*増田　昭三

「ミクロネシアにおける日本文化の受容過程に関する文献研究」

代表者――杉本　尚次

班　員―― 石毛　直道　石森　秀三
牛島　巌　大胡　修
須藤　健一　*中村　基衛
中山　和芳　*畑中　幸子
*山本　真鳥

「民間信仰の民族学的研究」

代表者―― 伊藤　幹治

班　員―― 石毛　直道　石森　秀三
泉　幽香　*杉藤　重信
高取　正男　*中田　睦子
*野村　雅一　端　信行
藤井　知昭　松原　正毅
*宮田　登　宮本　勝
和田　正平

「華南における少数民族の伝承に関する基礎資料の調査および蒐集と分類」

代表者―― 君島　久子

班　員―― 佐々木高明　竹村　卓二
*新島　翠　*渡辺弥栄子

「有用植物の辞書的研究」

代表者―― 佐々木高明

班　員――*阪本　寧男　*清水　建美
*田中豊三郎　*中尾　佐助
*新田　あや　*堀田　満
*山口　裕文　*山本　紀夫
吉田　集而　和田　祐一

「ハルマヘラ島の民族誌的研究」

代表者―― 石毛　直道

班　員―― 大胡　修　佐々木高明
*堀田　満　松澤　員子
吉田　集而　和田　祐一

「ペルー国リマ市天野博物館所蔵品の整理研究」

代表者―― 梅棹　忠夫

班　員――*加藤　泰建　*寺田　和夫
藤井　龍彦

**海外における研究・調査・収集活動**

| 氏　名 | 所属・官職 | 出　発 | 帰　国 | 行　先 |
|---|---|---|---|---|
| 和田　正平 | （第3研究部助教授） | 51. 7. 1 | 51. 8. 25 | ケニア，エチオピア，タンザニア， |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | マダガスカル，ウガンダ，ルワンダ，ザンビア |
| 黒田　悦子（第4研究部助教授） | 51. 7. 9 | 51.10.17 | アメリカ合衆国，メキシコ |
| 藤井　龍彦（第4研究部助手） | 51. 7.20 | 51.11. 5 | ペルー |
| 祖父江孝男（第1研究部教授） | 51. 7.21 | 51. 8. 4 | フランス，デンマーク，連合王国，アメリカ合衆国 |
| 中山　和芳（第1研究部助手） | 51. 8.15 | 53. 8.14 | アメリカ合衆国 |
| 石毛　直道（第5研究部助教授） | 51. 8.24 | 51.12.30 | インドネシア |
| 吉田　集而（第2研究部助手） | 51. 8.24 | 52. 1.10 | インドネシア |
| 藤井　知昭（第2研究部助教授） | 51. 8.27 | 51. 9.24 | インドネシア，スリランカ，インド |
| 大給　近達（第4研究部教授） | 51. 9. 1 | 51.10.25 | カナダ，アメリカ合衆国 |
| 佐々木高明（第2研究部教授） | 51. 9. 4 | 51.11.30 | インドネシア |
| 和田　祐一（第3研究部教授） | 51. 9. 4 | 51.11.30 | インドネシア |
| 松澤　員子（第1研究部助教授） | 51. 9. 4 | 51.11.30 | インドネシア |
| 大胡　　修（第1研究部助手） | 51. 9. 4 | 51.12.23 | インドネシア |
| 松原　正毅（第2研究部助教授） | 51. 9. 7 | 51.12. 6 | トルコ，シリア，ヨルダン，イラク，イラン，アフガニスタン，パキスタン |

**来館者抄**

昭和51年

7月6日　友枝　啓泰　埼玉大学助教授
　　李　光　奎　ソウル大学教授
　　宣　君　星　暁星女子大学教授
　　李　賛　泳　白頭学院建国中高等学校

7月13日　上田　　篤　京都大学助教授

7月15日　Gérard Diffloth　シカゴ大学準教授

7月20日　合田　周平　電気通信大学助教授

7月26日　岸田　晩節　大阪市立大学教授

8月25日　久保　芳和　関西学院大学長

8月31日　藤枝　　晃　京都大学名誉教授

9月6日　Lee Poh Ping　マラヤ大学助教授
　　鳴海　　元　広島大学附属図書館長

9月24日　河合　雅雄　京都大学教授

9月27日　周　達　生　神戸中華同文学校

9月28日　北村　四郎　京都大学名誉教授

9月29日　Eugene I. Knez　スミソニアン研究所アジア人類学部門キュレーター

# 国立民族学博物館研究報告　1巻　総目次

## 1巻1号


**論　文**

黒田　悦子：ミヘの儀礼——メキシコの土着宗教とカトリック——…… 1

佐々木高明・深野　康久：ルカイ族の焼畑農業
——その技術と儀礼についての調査報告——…… 33

中村俊亀智：シロフミ田下駄の諸系列——用具論的に——…… 126

**資料・研究ノート**

加藤　九祚：中川五郎治の見たシベリア諸民族…… 152

EGUCHI, Paul kazuhisa: Performers of Fulße Oral Arts in Diamaré Prefecture …… 159

**調査研究活動報告**

中山　和芳：ニューギニアの収集品から…… 169

大給　近達：ヨーロッパ諸国の博物館視察(1)…… 177

和田　祐一：ヨーロッパの調査収集(1)——フィンランド——…… 181

端　　信行：西アフリカ収集調査雑記…… 187

祖父江孝男：HRAF との協力体制はじまる …… 194

梅棹　忠夫：『国立民族学博物館研究報告』のあり方について…… 204


## 1巻2号


**論　文**

松原　正毅：トルコの村の食事体系…… 219

藤井　龍彦：中央アンデス・ワヌコ地域の石器文化…… 272

加藤　九祚：間宮林蔵の見たギリヤク族(1)…… 305

EGUCHI, Paul Kazuhisa: Mbum Circumcision Songs …… 334

**資料・研究ノート**

KURODA Etsuko: Apuntes Sobre la Historia de los Mixes
de la Zona Alta, Oaxaca, México…… 344

石毛　直道：Kumupa の塩——イリアン・ジャヤ中央高地の物質文化(1)—— …… 357

泉　　幽香：視覚的思考をめぐる覚え書——構造主義の交換論的視点から—— …… 374

**調査研究活動報告**

杉本　尚次：トーレス海峡諸島調査記…… 386

石森　秀三：オセアニア民族資料収集調査記…… 400

藤井　龍彦：中南米研究調査の旅から…… 424

藤井　知昭：ゾロアスター教徒の衣裳——西アジア収集の回想—— …… 427

吉田　集而：インドネシア民族資料調査収集旅行ノートから…… 431

田邊　繁治：タイ稲作社会の調査より——タマサート大学—— …… 444

## 1巻3号

**論　文**

関本　照夫：中央ジャワ農村の儀礼的食物交換——スラカルタ地方の事例より—— …… 457

松澤　員子：東部バイワン族の家族と親族
——*ta-djaran*（1つの路）の概念を中心として—— …… 505

端　　信行：ドゥル族の季節観と農作業暦…… 537

藤井　龍彦：中央アンデス Middle Horizon の成立について…… 565

**資料・研究ノート**

吉田　集而：トバ・バタック族の親族呼称について…… 592

大胡　　修：島根半島一漁村の親類…… 604

石毛　直道：交通手段——イリアン・ジャヤ中央高地の物質文化(2)—— …… 618

**調査研究活動報告**

宮本　繁雄：アメリカ合衆国の自然史博物館…… 637

大給　近達：ヨーロッパ諸国の博物館視察(2)…… 657

櫻井　哲男：韓国の民俗音楽調査から——研究教育機関等の訪問を中心に——…… 660

## 1巻4号

**論　文**

田邊　繁治：ノーンパーマンの灌漑体系——ラーンナータイ稲作農村の民族誌的研究(1)—— … 671

大塚　和義：アイヌのキテ（回転式離頭銛）の諸系列——形態分類と編年—— …… 778

**資料・研究ノート**

竹村　卓二：ヤオ族の姓と命名法…… 823

中村俊亀智：東北地方タケカゴ細工の基調——日本列島におけるカゴ細工の諸系列(1)—— …… 847

吉田　集而：ウロス——トバ・バタック族の布について—— …… 868

**調査研究活動報告**

大給　近達：ヨーロッパ諸国の博物館視察(3)…… 884

端　　信行：サン・ルイ断章——在外研究活動の記録—— …… 887

梅棹　忠夫：国立民族学博物館における研究のあり方について…… 896

## 国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は，民族学（文化人類学）に関する論文，資料・研究ノート，調査研究活動報告等を掲載・発表することにより，民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は，次のとおりとする。
   (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織，運営に関与するもの
   (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
   (3) その他本館において適当と認めた者
3. 原稿を寄稿する場合は，論文，資料・研究ノート，調査研究活動報告等のうち，いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお，この区分についての最終的な調整は，国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は，原則として論文を１段組，その他のものを２段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は，日本語，英語，フランス語，スペイン語，ロシア語，中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし，その他の言語を用いる場合は，編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字，記号，印刷方法等が必要な場合は，編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で，日本語を使用する場合は，原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし，その他の言語による論文の場合は，編集委員会に相談するものとする。なお，寄稿する原稿については，執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は，原則として制限しない。ただし，編集する場合は編集委員会の判断により，紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は，必ず清書（欧文の場合はタイプ）し，原稿の写し１部を添付するものとする。なお，図，表のスミ入れ，レタリングは，編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は，編集委員会において審査のうえ，採否を決定する。なお，原稿は，採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い，掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては，別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は，次のとおりとする。

〒565　大阪府吹田市山田小川23の17（日本万国博覧会記念公園）
国立民族学博物館内
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-877-5341）

## 国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は，200字詰原稿用紙を使用し，横書きとする。
2. 原稿は，図，表を除き，原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は，原則として当用漢字，現代かなづかいを用いる。
4. 句読点，括弧，各種記号等は，原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号，月日及びその他の数字は，原則としてアラビア数字を用いる。なお，年号は，原則として西暦とする。
6. 図及び表は，一図，一表ごとに別紙に書き，本文とは別に一括して添付するものとする。なお，図，表ごとに通し番号（「図1」，「表1」等の要領により記入），図，表名及び説明並びに出典等を記し，本文原稿の欄外には，それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は，写りの明瞭なもので，手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り，図及び表の扱いに準じて通し番号，説明を付けたうえ，そう入箇所を指定するものとする。ただし，カラー写真は，原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は，カギ括弧を付け，著者名，文献刊行年次，引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

   [柳田，1942: pp. 67–69]

   [LEACH, 1961: p. 123]

   ただし，同年次刊行物の場合は，アルファベット順により，下記のように記載するものとする。

   [柳田，1942a: pp. 20–22] [柳田，1942b: p. 10]
9. 脚注は，一つ一つ別紙に記し，通し番号を付ける。なお，本文中に脚注をそう入する箇所には，脚注の当該番号を記入し，別紙の脚注には，本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は，すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。

    (1) 文献の配列は，著者名のアルファベット順とすること。

    (2) 文献の記載は，著者名，年号，論題（タイトル），誌名，巻，号，出版社名の順とすること。欧文の論題は引用符でかこみ，雑誌名及び単行本名は，イタリック体にするため，原稿には下線を引くこと。また，ローマ字人名は，スモール・キャピタルとするため，二重下線を引き，日本文の場合は，論題にカギ括弧，雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は，原則としてアラビア数字を用いること。

    (例)

    論文の場合

    Bohannan, P., 1973, "Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist", Current Anthropology, Vol. 14–4, The University of Chicago Press.

    石田英一郎，1948，「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』13巻4号 岡書店。

    単行本の場合

    Berlin, B. & P. Kay, 1969, Basic Color Terms: Their Universality and Evolution, University of California Press.

    柳田国男，1942，『日本の祭』弘文堂書房。

国立民族学博物館研究報告　1巻4号

編集委員

石森秀三　　関本照夫
伊藤幹治（編集委員長）　江口一久
松原正毅　　杉本尚次
宮本勝

編集事務協力

石元宏廸

〔後記〕 本号で第1巻が完結しました。これまで4号発行してきましたが，編集上，改めたい点がいろいろ出てきました。次号の2巻1号から執筆要領を一部改めたいと思っています。巻末の梅棹館長の一文は，館内の研究部会議でおこなわれた講話を収録したものです。　（伊藤）

昭和52年1月6日印刷
昭和52年1月14日発行

非売品

国立民族学博物館研究報告　1巻4号

編集・発行　国立民族学博物館
〒565 吹田市山田小川23－17
TEL 06 (877) 5341 (代表)

印刷　中西印刷株式会社
〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.1 no.4
December 1976

TANABE, Shigeharu — The Irrigation System in *Nɔ̄ng Pāman*, a *Lānnāthai* Village in Northern Thailand

OHTSUKA, Kazuyoshi — The *kite*, Toggle-headed Harpoons of the Ainu: Typology and Chronology

TAKEMURA, Takuji — The Yao Clan Names and Name-giving Systems

NAKAMURA, Takao — Basket-working in Japan (1): Tōhoku Area

YOSHIDA, Shuji — *Ulos*: Traditional Weavings of the Toba-Batak

UMESAO, Tadao — For the Promotion of Research Activities in our Museum

ISSN 0385-180X

National Museum of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
Phone 06-877-5341